



連絡先

山本邦夫(982)8844 巖 博(982)9663
亀田優子(982)1277 中村正公(983)8312
澤村純子(983)6275

八幡市長
選挙結果

八幡市民の会 井筒かおる氏 健闘するも及ばず5294票獲得

八幡市長選は16日投開票され、日本共産党も参加する八幡市民の会の井筒かおる氏＝無所属＝は5294票を獲得し、前回より1353票伸ばしましたが、及びませんでした。当選は現職の堀口文昭氏で、1万1852票を獲得しました。

「すぐやるプラン」に期待

市民の会と井筒氏は選挙戦を通じて、高校卒業まで医療費無料化、国保料や上下水道料金の負担軽減、公共交通の充実など7項目の「暮らし応援 すぐやるプラン」を提案しました。年間予算の1%、2億6000万円で実施できると財源も示して訴えました。

井筒氏のこうした提案に、市民の方から激励、期待の声が寄せられました。

「水道料金がなくて、お風呂を節約し週1回に減らした」

「家にプラスチックごみがたまる。回収を増やして」

「欽明台から市役所に行くのに乗り換えが大変。早く直通バスを走らせて」

選挙目前には、テレビ局が美濃山～市役所を結ぶバス路線を願う市民の声を取材・放送し、大きな話題になりました。

事務所や候補者カー、対話では、「すぐやるプラン」への期待、激励が広がりました。

一方、投票率は過去最低の29.6%にとどまりました。市民の期待の高まりを「市政を変えよう」という投票行動に結びつけることができず、残念な結果に終わりました。

市民の声が届かない

マスコミは、市長の得票は全有権者の20%にとどまり、「市政が身近に感じられていないことも低投票率の一因」と報道しています(京都新聞)。記者も「現市政は市民の声に耳を傾けていない」との指摘をたびたび聞いたと述べ、市政運営の在り方が問われた選挙だったと報じています。

市民の会に参加する日本共産党は、井筒かおる氏とともに、選挙で訴えた公約実現に向け、力を合わせてがんばります。

投票率は過去最低

29.6%

GDP大幅減

政府が発表した2019年10～12月の国内総生産(GDP)速報値は、物価変動を除く実質で前期比1.6%減、年率換算で6.3%の大幅な落ち込みとなりました。

安倍政権による消費税10%への引き上げが家計と日本経済を直撃。

暮らし応援の
施策を急げ

消費の落ち込みから、内需は5四半期ぶりのマイナス成長です。

八幡市内でも石清水八幡宮駅前の中堅スーパーはじめ、酒・たばこ店、弁当店が店を閉じるなど、不況の影響が深刻化しています。国と自治体あげて、国民の暮らしを応援する対策を強めることが急がれます。